

世代を問わずに対話を楽しむ まなび・ときめきフェス初開催



参加者が向かい合って対話するトークフォークダンス

10月26日、春日文化ホールで、参加者が世代を問わずに対話を楽しむ初の催し「TAMBA まなび・ときめきフェス 2024 ～えんにち！（縁・円・宴）『ひと』と『ひと』がつながる日～」が開催されました。

天理大学副学長の岡田龍樹さんによる「丹波市が『誰もがともに学び合うまち』になるために」と題した講演が行われたほか、参加者が円になり、フォークダンスのように代わるがわる語り合う「トークフォークダンス」も行われ、大人も子どもも対話を楽しみました。

永年の功績・善行をたたえて もみじ賞・かたくり賞を表彰



もみじ賞・かたくり賞の表彰式に出席した皆さん

永年にわたり、市の発展に寄与された17人に対し、その功績をたたえ、令和6年度のもみじ賞とかたくり賞が贈られました。

受賞者は、もみじ賞が足立秀一さん、坂谷高義さん、山中正彦さん、篠倉庸良さん、藤本幹雄さん、岸孝明さん、廣瀬德行さん、千種正裕さん、奥谷達哉さん、山内佳子さん、酒井良明さん、長澤進さん、かたくり賞が角谷建耀知さん、木久依子さん、北山義明さん、中尾恭子さん、羽山謙造さんでした。

柏原藩織田まつりとうまいもんフェスタ 武者行列が見物客を魅了

10月20日、柏原地域で柏原藩織田まつりとうまいもんフェスタが開催されました。今年は、織田家末裔の織田信孝さんが殿様役を務め、柏原藩陣屋跡から奴を先頭に出陣。約80人の武者行列が町を練り歩きました。甲冑を身に着けた少年武者やかわいい姫たちも後に続き、沿道はカメラを手にした多くの見物客でにぎわいました。また、柏原自治会館駐車場ではたくさんの屋台に長蛇の列ができ、来訪者たちは丹波の秋の味覚を楽しんでいました。



甲冑姿で練り歩くかわいい少年武者たち

丹波市制 20 周年をお祝い！ 5年ぶりにケント市長が来丹

丹波市の姉妹提携都市のひとつ、米国ケント市のダーナ・ラルフ市長と同市経済・地域開発部のカート・ハンソン部長らが10月に来日し、22日～25日の間、丹波市役所や柏原中学校、柏原高校、市内企業などを訪問しました。

新型コロナ禍以降、オンラインで交流を続けており、対面での交流は5年ぶり。ラルフ市長は丹波市制20周年を祝うメッセージを伝えたほか、互いの市が抱える課題や今後の展望などを語り合いました。



ラルフ市長から丹波市制20周年を祝うメッセージカードを受け取る林市長

海外のトレイルランレースで 中谷さんが日本人初の入賞



表彰盾を手に笑顔を見せる中谷亮太さん

トレイルランニングのプロランナー、中谷亮太さんが、海外の2レースに出場し、いずれも上位に食い込む活躍を見せました。8月末に南米ペルーのアンデス山脈で開催された「アンデスレース」の100キロ部門で6位、9月初旬にイタリアで開催されたトットドレットの130キロ部門で日本人初の5位入賞を果たしました。

中谷さんは「海外レースを経験し、日本の文化や人間性、歴史のすばらしさを改めて感じた」と話しました。

丹波市、丹波市商工会、東京海上日動の3者が 災害に強いまちをめざし連携協定を締結



協定書を手にする篠倉庸良商工会長、林市長、椿原丈士東京海上日動火災保険株式会社地域営業部長（写真左から）

10月16日、丹波市商工会本所で、丹波市商工会、丹波市、東京海上日動火災保険の3者による、市内事業所の非常事態に対する「事業継続力強化支援に係る連携協定」締結式が行われました。東京海上日動火災保険は3月時点で全国147自治体と同様の協定を結んでいます、三者による締結は初となる事例です。

篠倉庸良商工会長は「市内事業者の事業継続計画策定の動きは停滞しており、まずは命を守る取り組みの普及を進めたい」と話しました。

恐竜を題材とした交流学習「竜学」 こども恐竜大使が神流町を訪問

10月19日から21日までの3日間、市内の小学6年生6人のこども恐竜大使が、丹波市と同じように恐竜化石が発掘された群馬県神流町で、恐竜関連施設の訪問や博物館見学、現地の小学生との交流などを体験する「竜学」を実施しました。

10月9日には、大使が市長を表敬訪問し、一人ずつ抱負を述べました。黒井小の荻野篤広さんは、「丹波竜をアピールするだけでなく、神流町の恐竜のこともしっかり学びたい」と語りました。



こども恐竜大使の皆さん

こどもたち336人の夢が詰まったパズル 丹波市青年会議所が市に寄贈

10月30日、丹波青年会議所が市制20周年を迎えた丹波市に記念パズルを寄贈しました。市が20周年をPRするために作ったロゴやキャッチフレーズのほか、ちーたんのイラストなどを掲載。8月に開催された、水かけイベント「SPLASH!! 丹波!!」の会場で来場者に呼びかけ、子どもたちを中心に336人がパズルの裏面にそれぞれの「夢」を記しました。寄贈されたパズルは春日文化ホールに掲示されます。



記念パズルを手にする丹波青年会議所のみなさん